

令和4年度事業計画

(基本方針)

新型コロナウイルスの感染拡大は、本県の産業、とりわけ観光関連産業に極めて深刻な影響を及ぼしている。

令和3年度、当協会では観光関連事業者や市町村観光協会等との連携を深めながら、県と一体となって宿泊施設等での感染防止対策、県民の宿泊・周遊や県内教育旅行の促進、隣県からの観光誘客、県内団体も対象としたスポーツ合宿等、様々な事業に取り組んだところである。ワクチン接種やPCR検査体制の強化等が図られてきたものの、観光関連事業では依然として厳しい状況が続いているのが現実である。

このような中、令和4年度においても、本県の観光回復・振興に向け、引き続き、観光関連事業者や市町村観光協会等との連携を深めながら、本県ならではの観光資源を生かした「魅力ある観光地域づくりの推進」、「将来を見据えたインバウンドへの布石」、「全県下・通年化・多種目化に繋がるスポーツ合宿等の誘致・支援」、「みやざきMICEの推進」の4つを軸に取り組むこととする。

とりわけ、宮崎カーフェリーの新船就航を契機として、教育旅行やスポーツ合宿の誘致、屋外型トレーニングセンターや国スポ拠点施設等の整備に伴うスポーツ合宿・キャンプの受入強化に積極的に取り組む。

(主な重点事項)

1 関係機関との連携強化

市町村観光協会や観光関連事業者等と緊密に意見交換等を行い、求められる対策等について認識の共有化と相互協力を図り、事業展開に繋げる。

<主な取組>

- (1) 市町村観光協会会長会議
- (2) 観光関係事業者会議
- (3) テーマ別担当者会議
 - ①観光地域づくり関係担当者会議 (6月～)
 - ②スポーツ関係担当者会議 (6月～)
 - ③MICE関係担当者会議 (6月～)
- (4) 会員の集い
賛助会員相互の交流・情報交換等の促進を図る

2 魅力ある観光地域づくりの推進

新型コロナウイルスの感染拡大により極めて深刻な影響を受けている本県の観光関連産業の回復に繋がる支援事業等に取り組む。

また、ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた国内からの観光誘客に柔軟に対応できる宮崎らしい旅行商品の造成等にも取り組む。

<主な取組>

- (1) 県民や隣県在住者を対象とする「ジモ・ミヤ・タビ」キャンペーン事業
- (2) ㊦「観光みやざき回復支援事業」(いわゆる県版GoTo事業)
- (3) ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくりの推進
- (4) 宮崎の魅力を生かした新たな旅行商品(㊦サイクルツアー等)への支援
- (5) 遊び・体験メニューの充実や割引支援
- (6) 観光業務に携わる観光人材の計画的な育成

3 将来を見据えたインバウンドへの布石

インバウンド再開を見据え、関係機関との連携をさらに強化する。

<主な取組>

- (1) 航空会社と連携した宮崎ならではの旅行商品の造成・販売
- (2) インターネットを活用した情報発信の強化
- (3) 県内観光地における多言語対応体制の充実

4 全県下・通年化・多種目化に繋がるスポーツ合宿等の誘致・支援

屋外型トレーニングセンターや国スポ拠点施設等の整備、宮崎カーフェリーの新船就航をセールスポイントにした合宿誘致やプロ野球・Jリーグのキャンプ等受入支援に取り組む。

<主な取組>

- (1) 県内及び県外のスポーツ団体等の合宿等誘致
- (2) サーフィンや武道等、新たなテーマによるスポーツ合宿誘致
- (3) プロ野球、Jリーグ等のキャンプ受入支援

5 みやざきMICEの推進

新型コロナウイルス感染拡大により延期となった会議開催のフォローに取り組むとともに、新たな誘致セールス先の開拓、誘致メニューの策定等に取り組む。

<主な取組>

- (1) 東京・関西・福岡地区のセールス(誘致商談会)
- (2) 新たな誘致メニューの策定・提供

I 観光振興【8,569,483千円】

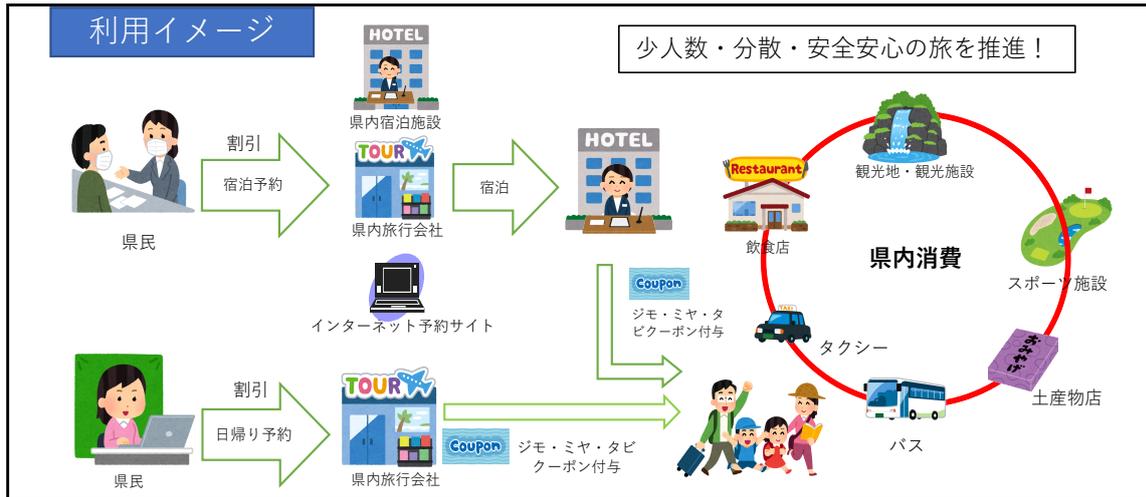
1 観光関連産業の回復に向けた宿泊割引キャンペーン等の取組

(8,260,359千円)

(1) 「ジモ・ミヤ・タビ」キャンペーン事業 (2,451,000千円)

県民や隣県在住者向けの県内宿泊等割引や県内土産物店等で使用できるクーポンの付与を実施

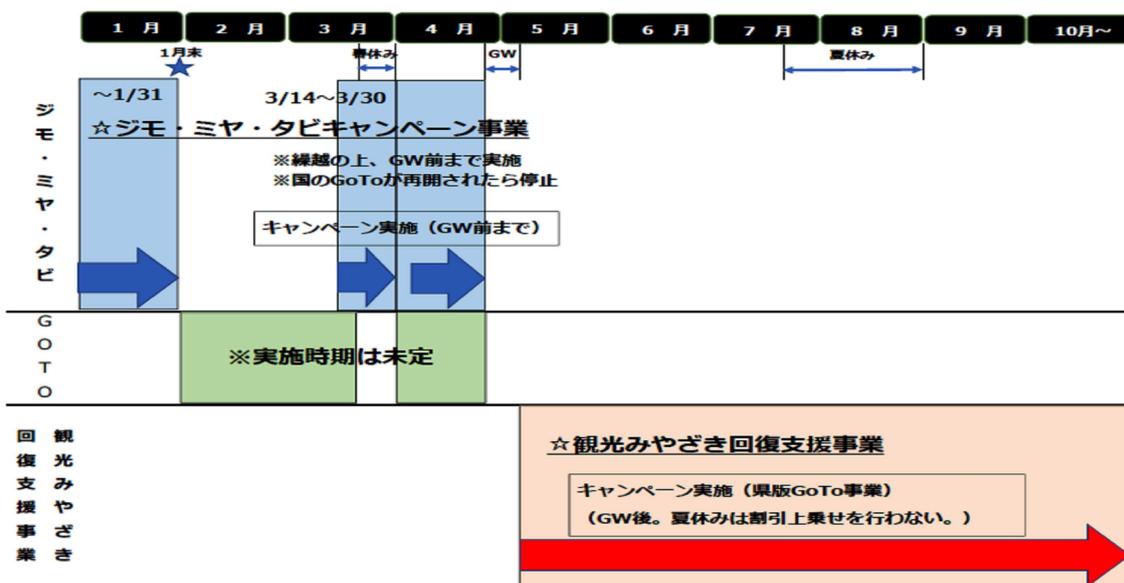
※ 実施時期はGW前までとし、感染状況を見極めながら、誘客範囲等を設定



(2) 新 観光みやざき回復支援事業 (5,809,359千円)

落ちこんだ観光需要を早期に回復するため、国内観光客の県内周遊を促進するためのキャンペーン（いわゆる県版GoTo事業）を実施するとともに、国内交通機関と連携した観光プロモーションの強化を図る。

※ 実施時期はGW後とし、感染状況を見極めながら誘客範囲等を設定



今後の宿泊割引キャンペーン等の予定

2 「日本のひなた宮崎県」国内誘客促進事業 (17,421 千円)

ポストコロナ時代を見据え、本県の強みを活かした旅行商品造成のために旅行会社と連携しながら顧客分析を行い、国内旅行者のニーズに基づいた本県の観光素材等を発信する。また、国内最大級の旅行博への出展等により本県の知名度向上を図る。

(1) 本県知名度向上のため誘客プロモーションの展開等

- ・ ツーリズムEXPOジャパン（9月：東京ビッグサイト）への出展
- ・ 旅行会社等との商談会等での出展



ツーリズムEXPOジャパンの様

(2) 旅行会社等と連携した観光誘客事業 大手旅行会社とのタイアップ、日本観光振興協会等との共同事業等

3 みやざき観光誘客再生事業 (78,310 千円)

本県への誘客を図るため、交通機関や観光関連産業と連携した効果的な誘客や、スポーツ・食・自然・神話など本県の強みを戦略的かつ強力に発信し、本県観光の再生に繋げる。

(1) 国内交通機関と連携した効果的なプロモーション

宮崎カーフェリーなど国内交通機関とタイアップし、新船就航をトリガーとしたプロモーションや、宮崎のスポーツ・神話・食等をテーマにしたプロモーションを展開

(2) 国内観光関連産業との連携キャンペーン

- ・ 「分散型旅行」、「ウィークデー旅行」など、新たなテーマによる旅行商品の造成に対する支援
- ・ ロングステイ強化を図るため、遊び・体験メニューの充実や割引を支援

(3) 観光誘客情報発信事業

- ・ SNS等を活用したシーズン毎の魅力発信と誘客プロモーションの実施
- ・ 市町村と連携した、宮崎県観光情報サイト「旬ナビ」やインスタグラム等のSNSを活用した観光情報発信の充実



サイクリングモニターツアー（2021）

(4) ⑧ サイクルツアー等造成事業 サイクリングを素材とするツアー商品を造成

4 ポストコロナに向けた稼ぐ観光地域づくりの推進 (34,749千円)

ポストコロナに向けた地域の観光資源の掘り起こしや磨き上げ、観光地の受入環境整備に対して支援するとともに、地域を牽引している観光人材を育成し、県と市町村、観光関係団体、観光事業者等が一体となった観光地域づくりに取り組む。

(1) 専門人材による観光地域づくり支援

外部専門人材の配置及び民間事業者が行う自然景観を生かした観光や体験型観光に対応した受入環境整備の費用の一部を助成



創生塾開講式(県電ホール)

(2) 観光みやざき創生塾

地域の中核となる観光人材育成を目的とした研修(基礎コース・実践コース)の実施

5 教育旅行誘致・定着化促進 (99,669千円)

行政機関・団体、民間事業者等で構成する宮崎県教育旅行誘致推進協議会において、オールみやざき体制で誘致に取り組み、教育現場のニーズを捉えた誘客プロモーションを展開し、国内外からの教育旅行の誘客を図る。

(1) 新たな教育旅行素材の提案

本県ならではの教育旅行素材の発掘・磨き上げを行い、新たな素材として提案・セールスを実施



酪農体験プログラム(新富町)

(2) 国内誘致

- 令和2～3年度に引き続き、本県で教育旅行を実施する際、貸切バスの費用及び企画開発費の一部を助成
- 主に九州地区内にターゲットを定め、教職員及び旅行会社等の招請事業を実施
- 宮崎カーフェリーの新船就航をトリガーとした関西地区関係者招請事業を実施



サーフィン体験プログラム(青島)

(3) 国外誘致

コロナ感染拡大前に本県への教育旅行の伸びが著しかった台湾・香港をメインターゲットに招請事業及び現地セールスを可能な範囲で実施

(4) 学校交流支援

県外若しくは海外学校との交流事業を行う県内学校に対し、交流行事に要する経費の一部を助成

6 九州圏域観光誘客 (4,680 千円)

九州域内の誘客促進を図るため、隣県やNEXCO西日本と連携した共同プロモーションの実施等により、本県誘客を促進する。

(1) 大分県と連携した共同セールス・誘客プロモーションの実施

(2) NEXCO西日本との連携

九州周遊ドライブパスとの連携や高速道サービスエリアや道の駅等でのPR事業を実施

7 ユニバーサルツーリズムの推進 (11,900 千円)

高齢者や障がいのある方々の今後の旅行需要の高まりを見据え、「ユニバーサルツーリズムセンター」を軸に、全ての人が気兼ねなく旅行できるための情報収集・提供、宿泊施設等への研修事業等を実施する。

(1) ユニバーサルツーリズムに関する観光客への情報提供、相談対応

(2) 宿泊施設や観光地におけるバリアフリー等状況調査

(3) 県内観光事業者等を対象とした研修会の開催

8 みやざき観光カレンダー2023の作成 (3,700 千円)

県内各地の景勝地の写真を広く公募し、四季折々の美しい宮崎を紹介する観光カレンダーを作成し、関係機関へ配布するほか、県内各所で販売し、PRを図る。



みやざき観光カレンダー2022

9 訪日外国人旅行者誘致対策

(58,695千円)

段階的なインバウンド再会を見据え、関係機関との連携をさらに強化する。特に、台湾対策を強化する。

- データに基づき、市場別のニーズに対応した、デジタルを活用した情報発信やオンライン商談会等を実施
- 宮崎県香港事務所、宮崎県経済交流室（上海）、台湾駐在員と連携したセールスやイベントの実施
- 羽田・成田・福岡等を利用して入国する訪日外国人へのプロモーションや国際線の宮崎路線復便に向けた取組

(参考)

国は、令和2年12月観光庁観光戦略実行推進会議「感染拡大防止と観光需要回復のための政策プラン」に基づき、2030年時点で6千万人の誘客目標に向けて、インバウンドの段階的復活を企図



台湾 I T F の模様 (2021年)

(1) 東アジア重点地域対策（台湾、香港、中国、韓国）

- 県海外事務所、駐在員、代理店等による旅行博出展やイベントの実施
- 旅行社、航空会社、関係団体とのオンライン会議・商談会の実施
- アシアナ航空、チャイナエアラインへの宮崎路線復便の働きかけ
- 航空会社や旅行会社のオンラインイベントやオンラインツアーへの協力
- 在日ランドオペレーターへのセールス、在日インフルエンサーによる情報の発信



南九州ポップストア（台湾・台北市）

(2) 欧米豪市場対策（英国、米国、豪州、シンガポールも含む）

- 航空会社と連携した、着地型旅行商品の造成・プロモーション・販売・コンテンツの掘り起こしと磨き上げ

(3) クルーズ

- ・ 県内外の関係機関との意見交換会の実施
- ・ 外国船船社へのオンラインセールス

(4) デジタルプロモーション

- ・ 宮崎県観光情報外国語サイトでの情報発信強化
- ・ 観光庁多言語解説整備事業の実績を活用したサイト内ページ制作、JNTO（日本政府観光局）等の外部サイトを活用した情報発信
- ・ YouTube チャンネルの整備及び広告配信、Facebook ページの運用、在日インフルエンサーやユーチューバーによる情報発信



YouTube画像（英語版）

(5) 県内観光地における多言語対応体制の充実

- ・ 宮崎県多言語コールセンターの運営、PR活動
- ・ 観光庁「地域観光資源の外国語解説整備支援事業」で作成した英語・中国語解説文を用いた観光案内板等の整備促進



コールセンターPOP

Ⅱ スポーツランド推進【101,632 千円】

1 スポーツ合宿・キャンプ等受入支援 (70,676 千円)

県内外アマチュアスポーツ団体等に対して合宿経費の一部助成等を行い、本県での合宿、スポーツイベントの開催実現を促進。

また、プロ野球やサッカーJリーグ等のプロスポーツチームなどに対する宮崎牛等の県産品贈呈のほか、市町村が行うキャンプ受入歓迎事業等の支援。

(1) アマチュアスポーツ団体の受入支援

- ・ コロナ経済対策としてスポーツ合宿受入、スポーツイベント開催補助金による支援
- ・ 県全域を対象としたスポーツ施設等の紹介、地元等との調整

(2) プロ団体、各競技団体代表等への受入支援（県産品贈呈）

- ・ プロ野球、サッカーJリーグ
- ・ ラグビー、トライアスロン、陸上、フェンシング等の国内外代表チーム



令和4年オリックス・バファローズ春季キャンプ



令和4年読売巨人軍春季キャンプ

(3) 受入歓迎

- ・ ボールパークG（巨人軍物産展）、ジャビットバス運行などプロ野球一軍5球団の盛り上げ支援
- ・ エアポートボールパーク2023開催支援
- ・ プロ野球選手とファンとのキャッチボールイベントの開催（宮崎球援プロジェクト）

(4) 受入体制の強化

Jリーグのトレーニングマッチに係るコーディネートや対戦チーム確保に係る支援のほか、地元審判員確保のための講習会の開催によりキャンプ地としての受入体制強化

2 スポーツイベント等開催促進 (25,400 千円)

国際大会や全国大会など経済効果の高いスポーツイベント等に対し、開催経費の一部助成、調整業務や現地対応等の運営支援の実施。

- ・ 福岡ソフトバンクホークス公式戦（5月）
- ・ 全日本サーフィン選手権大会（8月）
- ・ ファーム日本選手権、フェニックスリーグ（10月）
- ・ ワールドトライアスロンカップ(2022/宮崎)（10月）
- ・ 第35回青島太平洋マラソン（12月）
- ・ 三大ゴルフトーナメント
ダンロップフェニックス（11月）、リコーカップ（11月）、
アクサレディース（3月）

3 誘致セールス・PR活動 (5,556千円)

スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多種目化」に向けた大学・実業団等を対象にした誘致セールスやセミナーを実施する。また、武道等を活用した体験型ツーリズムのプロモーション及び受入環境を整備する。

- ・ スポーツ合宿誘致セールス（関東、関西、中部・九州）
- ・ 合宿誘致セミナー（関西・中部）
- ・ スポーツランド推進コーディネーター活用による誘致推進
- ・ 武道ツーリズムの推進（体験型メニューの開発支援等）
- ・ プロゴルフトーナメントへの県外観光客の誘致（ゴルフ王国宮崎振興）
- ・ プロ野球・サッカーJリーグのキャンプガイドマップ作成
- ・ サーフガイドマップの改訂



令和3年度合宿誘致セミナー（名古屋会場）

4 今後のスポーツ施設整備や宮崎カーフェリー新船就航を踏まえた合宿受入の推進

- ・ 屋外型トレーニングセンターや国スポ拠点施設等の整備を見越した合宿受入推進において県・関係市町村、競技団体等と連携した受入体制強化や受入対応の支援及び各種調整
- ・ 関西地区からのスポーツ合宿団体等に宮崎カーフェリーの新船利用の推進を積極的に展開

Ⅲ MICE推進【68,472千円】

1 MICE推進体制強化

(3,002千円)

- (1) みやざきMICE推進協議会による誘致の推進
協議会を通じてMICE受入体制の拡充、産学官が連携した誘致活動
- (2) 会議・研修
 - ・ 日本政府観光局（JNTO）主催研修等に参加し、MICE情報の収集、職員のスキル向上
 - ・ 九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会など、MICE関連団体との意見交換・取組情報共有による誘致内容の更なる充実



九州・沖縄地区コンベンション推進団体連絡会総会
県庁5号館（旧第一勧業銀行宮崎支店）（令和3年11月25日（木））

- (3) MICE歓迎支援
 - ・ 歓迎看板設置や郷土芸能披露の支援の他、バナー、横断幕の貸出、観光パンフレット、飲食店ガイドマップ等の提供
 - ・ コロナ禍対策としてのハイブリッド会議支援や県内エキスカーション実施に対するバス移動支援など

2 MICE誘致促進強化

(7,170千円)

- (1) MICE個別誘致セールス（国内・海外）
大都市圏の学術会議事務局や大学、企業、さらに県内の大学や各種団体等への定期訪問を強化 また、コロナ禍収束後の台湾セールスの実施

(2) 現地視察招請事業

学会関係者等MICE開催地決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行等を扱う国内外の旅行業者を招請、宮崎のMICE施設や観光地等の現地視察を支援し、開催地決定に繋げる。

(3) 国内・海外MICE誘致

国内外で開催されるMICE商談会（日本政府観光局(JNTO)等主催）に参加、開催補助金等の支援内容を説明し、国内・海外MICE、訪日インセンティブ旅行を誘致

(4) MICE誘致商談会

学術会議等の主催者や大学・企業関係者、旅行取扱エージェントなどを対象に商談会を開催、開催補助金制度などの説明や情報交換会を行い、MICE誘致に繋げる

3 MICE開催支援

(58,300千円)

(1) MICE開催補助金交付

MICE開催補助金交付要綱の基準を満たす九州規模以上の大会等に対して補助金を交付



ハイブリッド（リアル、オンライン参加）会議

（令和3年10月3日（日））

<令和4年度の主なM I C E>

- 第19回 日本褥瘡（じょくそう）学会九州・沖縄地方学術集会
5月14(土)～15日(日) 延参加者 2,000人 延宿泊者 600人泊
- 第16回日本介護支援専門員協会 全国大会in宮崎
6月4(土)～5日(日) 延参加者 2,400人 延宿泊者 800人泊
- 第27回NIE(Newspaper In Education) 全国大会宮崎大会
7月28(木)～29日(金) 延参加者 2,000人 延宿泊者 700人泊
- 第33回 日本心血管インターベンション治療学会 九州・沖縄地方会
8月19(金)～20日(土) 延参加者 1,340人 延宿泊者 600人泊
- 日本水産学会 宮崎大会
9月5(月)～7日(水) 延参加者 1,800人 延宿泊者 1,500人泊
- 第33回 廃棄物資源循環学会 宮崎大会
9月20(火)～22日(木) 延参加者 2,190人 延宿泊者 1,430人泊
- 日本認知・行動療法学会第48回大会
9月30(金)～10月2日(日)
延参加者 3,000人 延宿泊者 1,980人泊
- 第37回 日本整形外科学会基礎学術集会
10月13(木)～14日(金) 延参加者 4,000人 延宿泊者 2,800人泊